

2. 交流促進に向けた取組状況について

現在、実施中の協議会構成員の主な取組内容

1. 広域連携の取組

- 広域観光ルート（エメラルドルート）の検討【四経連・中経連】
- しまなみ海道自転車通行料無料化【広島県・愛媛県・本四高速】 別紙1
- 「瀬戸内ブランド推進連合」の取組
 - 【兵庫県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県】
- 「瀬戸内しまのわ2014」を実施【広島県・愛媛県】
- 「2橋まるごとウォーク」「瀬戸大橋スカイツアー」等のイベントの実施
 - 【兵庫県・岡山県・徳島県・香川県・本四高速】
- 「瀬戸内海国立公園指定80周年記念事業」を実施【香川県・岡山県】
- 四国八十八箇所と遍路道の世界遺産登録の推進を実施
 - 【徳島県・香川県・愛媛県・高知県】
- 「歴史・文化道推進協議会」による歴史文化道事業の推進
 - 【四経連・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・四国地整・四国運輸局等】
- 美術館ネットワークの活用【本四】

2. 協議会構成員の単独の取組

- 道路整備利用者促進基金の造成【徳島県】 別紙2
- 愛媛マルゴト自転車道の展開・利用促進【愛媛県】

3. 広域的な情報発信

- 四国総合HP「ウェルカム四国」や「瀬戸内海歴史文化回廊」による情報発信【四経連・中経連】 別紙3
- 東京に共同（岡山・鳥取県）でアンテナショップの開設【岡山県】
- 「淡路島名誉大使」による淡路島誘客キャンペーン【兵庫県】

今後、実施予定の協議会構成員の主な取組内容

1. 広域連携の取組

○インバウンド向けの広域観光ルートの開発【四国運輸局】

- ・ビジット・ジャパン地方連携事業の実施に向け、今後、有望な新規周遊観光ルートについての意見交換を実施し、新たな広域・周遊ルートの開発・提供のための施策の検討。

2. 協議会構成員の単独の取組

○「淡路花博2015花みどりフェア」の開催【兵庫県】

別紙4

- ・「淡路花博2015花みどりフェア」（H27.3.21～5.31）の開催。

○全国年明けうどん大会【香川県】

- ・全国の著名な御当地うどんを集めた、見て・食べて楽しめるイベントの開催

○高速道路延伸に併せた広域観光（高知家・まるごと東部博）【高知県】

- ・高知東部自動車道の延伸に併せて、高知県東部地域全体（芸西村～東洋町9市町村）で「高知家・まるごと東部博」を実施。（H27.4～H27.10）

3. 広域的な情報発信

○協議会のホームページの開設【本四】

環瀬戸内海地域交流促進協議会 各主体の取組内容

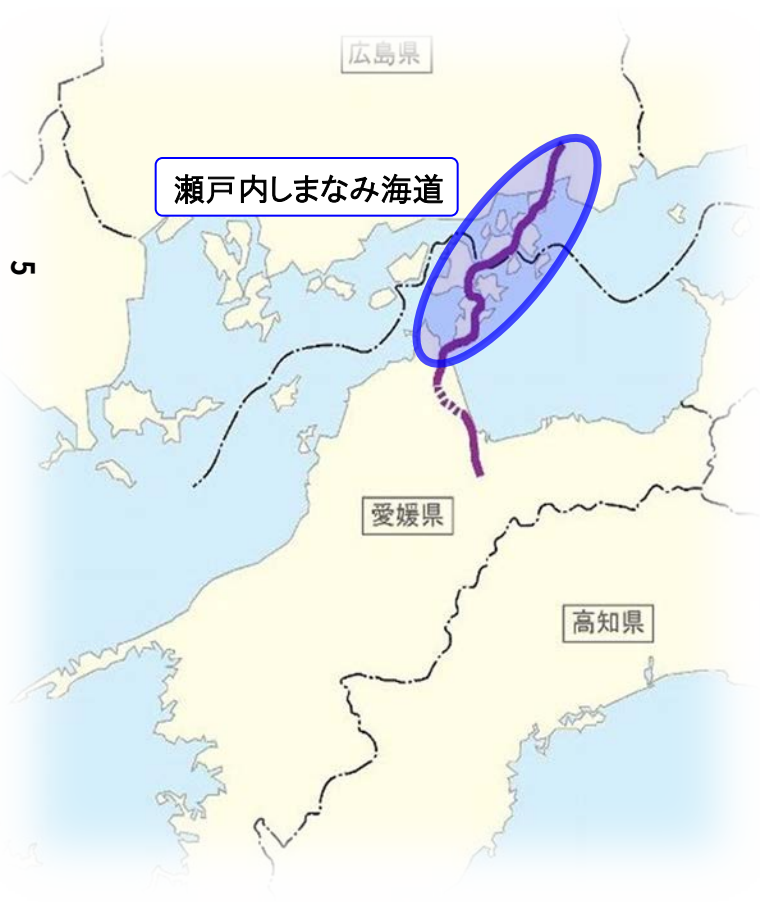
		1. 広域連携の取組	2. 独自の取組	3. 広域的な情報発信の取組
四経連	取組名	○西日本の6経済連合会などで構成する「西日本広域観光ルート検討会」による外国人向け西日本広域観光ルートの取り組み ○四国の官民14団体で構成する「歴史・文化道推進協議会」による歴史文化道事業の推進		○四国総合HP「ウェルカム四国」による情報発信
	取組概要	○西日本広域観光ルート(エメラルドルート)の開発・販売 ○「歴史文化道」の整備及び四国の歴史・文化の情報発信		○四国の魅力発信
	取組の目標 期待される効果	○西日本へのインバウンド旅客の増加 ○四国を訪れる人の増加		○四国を訪れる人の増加
中経連	取組名	○高速道路(中国横断自動車道尾道松江線)の開通による地域経済への波及効果・影響等に関する調査【実施中】		○「瀬戸内海歴史文化回廊」の頒布・PR
	取組概要	○尾道松江線の開通効果・影響の把握と利活用を通じた地域経済の活性化を目的に、中四国セントラルルート地域連携軸推進協議会(島根、広島、愛媛、高知)とも連携して調査を実施。		○瀬戸内海国立公園指定80周年を控え、昨年15年ぶりに改訂した「瀬戸内海歴史文化回廊」の頒布・PR
	取組の目標 期待される効果	○尾道松江線の利活用を通じた地域経済の活性化		○中国地方の認知度向上と観光振興
兵庫県	取組名	○「2橋まるごとウォーク」等のイベント実施	○「淡路花博2015花みどりフェア」の開催【実施予定】	○「淡路島名誉大使」による淡路島誘客キャンペーン
	取組概要	○「明石海峡大橋海上ウォーク」「2橋(明石海峡大橋・鳴門大橋)まるごとウォークツアー」等の体験イベントの実施	○花と緑に加え、暮らし全体をテーマとし、全島民あげた祭典 淡路会場:淡路夢舞台および国営明石海峡公園 洲本会場:洲本市中心市街地エリア 南あわじ会場:淡路ファームパーク・イングランドの丘エリア 他	○「淡路島名誉大使」桂文枝さんによる淡路島誘客キャンペーンの実施 ・テレビ・ラジオCM放送及びポスター掲示 ・文枝さんプロデュース「淡路島宣伝プロジェクト！」
	取組の目標 期待される効果	○明石海峡大橋及び大鳴門橋の管理路等を活用した体験イベントを実施し、本四道路の利用促進や地域間交流を推進するとともに、全国から訪れる参加者に兵庫県及び徳島県の魅力を発信する。	○来場者数目標値:約300万人 ○淡路の魅力を発信、地域活性化や地域振興の推進等	○観光客の増加
岡山県	取組名	○「瀬戸大橋スカイツアー」の実施 ○瀬戸内海国立公園80周年記念事業との連携 ○「瀬戸内ブランド推進連合」の取組 ○周遊観光ルートの開発【総合計画の中で位置づけ】		○岡山・香川広域観光協議会での誘客促進事業との連携 ○東京に共同(鳥取県)でアンテナショップの開設【実施予定】
	取組概要	○春・秋の瀬戸大橋スカイツアーの実施 ○瀬戸内海国立公園80周年記念事業(春・秋の備讃瀬戸ウォークや観光地のスタンプラリー等)を実施 ○瀬戸内海沿岸の7県が連携し、瀬戸内地域や首都圏での共同プロモーションや周遊観光ルートの開発など各種事業を推進		○6人の瀬戸ガールが、女性の視点で観光地やグルメ情報を発信 ○東京(新橋)に鳥取県と共同でアンテナショップを開設。近くの香川県・愛媛県のアンテナショップ「せとうち旬彩館」との相乗効果を期待
	取組の目標 期待される効果	○瀬戸大橋の技術力や瀬戸内海の魅力の発信 ○瀬戸内海地域への観光客の誘致促進 ○平成32年度「首都圏・関西圏における瀬戸内への来訪意向を持つ人の割合:50%(H25年度:27.9%)=目標数値		○岡山県及び香川県への観光客の誘致促進 ○岡山県及び鳥取県の首都圏での知名度の向上、ブランドの確立
広島県	取組名	○「瀬戸内ブランド推進連合」の取組 ○「瀬戸内しまのわ2014」実施 ○しまなみ海道サイクリングロードの利用促進		
	取組概要	【「瀬戸内ブランド推進連合」の取組】 ○瀬戸内海沿岸の7県が連携し、瀬戸内地域や首都圏での共同プロモーションや周遊観光ルートの開発など各種事業を推進 【「瀬戸内しまのわ2014」実施】 ○広島・愛媛両県のしまなみ海道沿いの島しょ部及び臨海部(13市町)を舞台に開催中(H26.3.21～10.26) ○8千人規模の国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」を10月26日に開始予定 【しまなみ海道サイクリングロードの利用促進】 ○本四高速道路橋梁区間での自転車通行料金の無料化 ○認定制度(ナショナルサイクリングロード(仮称))の創設		
	取組の目標 期待される効果	【「瀬戸内ブランド推進連合」の取組】 ○H32「首都圏・関西圏における瀬戸内への来訪意向を持つ人の割合」:50% 【「瀬戸内しまのわ2014」実施】 ○ブラッシュアップする観光プログラム数:100以上 ○イベント参加者数:80万人(対前年増加人数) 【しまなみ海道サイクリングロードの利用促進】 ○しまなみ海道サイクリングロードの利用環境の向上を図ること で、利用促進やブランド力向上を図り、観光振興や地域活性化につなげる。		
徳島県	取組名	○「2橋まるごとウォーク」等のイベント実施	○「本四高速対応戦略」の着実な実施 ○道路整備利用促進基金の造成	
	取組概要	○「明石海峡大橋海上ウォーク」「2橋(明石海峡大橋・鳴門大橋)まるごとウォークツアー」等の体験イベントの実施	○本四高速対応戦略「第3弾」である①とくしま発信戦略②産業振興戦略③観光交流戦略④農林水産戦略⑤交通ネットワーク戦略⑥文化・スポーツ・にぎわい戦略⑦広域交流福祉戦略を展開中 ○広域交通ネットワークである高速道路等の整備と道路の利用促進策の展開により、人流・物流の効率化や観光における利便性の向上を図る。	
	取組の目標 期待される効果	○高速道路や橋梁などの土木構造物の技術の広報 ○県内外からの観光誘客	○高速道路の利用促進 ○観光入込客や宿泊客数、交流人口の増加 ○徳島の食・文化等の魅力のPR ○地域の活性化	

環瀬戸内海地域交流促進協議会 各主体の取組内容

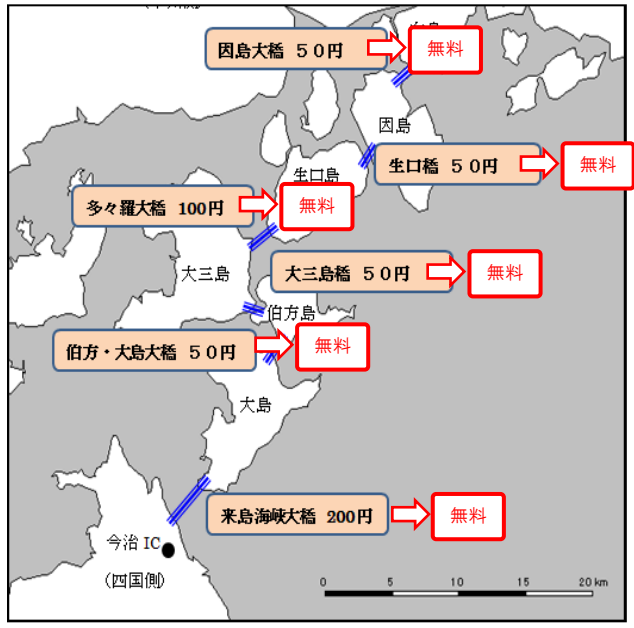
		1. 広域連携の取組	2. 独自の取組	3. 広域的な情報発信の取組
香川県	取組名	○「瀬戸内ブランド推進連合」の取組 ○「瀬戸大橋スカイツアー」の実施 ○瀬戸内海国立公園指定80周年記念行事との連携したPR ○四国八十八箇所と遍路道の世界遺産登録の推進との連携したPR	○全国年明けうどん大会2014 in さぬき	○岡山・香川広域観光協議会での誘客促進事業との連携
	取組概要	○瀬戸内海沿岸の7県が連携し、瀬戸内地域や首都圏等での共同プロモーションや観光プログラムの充実(周遊観光ルートの開発等)など各種事業を推進 ○春・秋の瀬戸大橋スカイツアーの実施 ○瀬戸内海国立公園指定80周年を機会に瀬戸内海の素晴らしさや大切さなどを県内外に発信し、瀬戸内海を活用したにぎわいづくりを図る。 ○四国遍路文化の世界遺産への登録の推進と「四国霊場開創1200年記念4県連携事業「空海の足音四国へんろ展」を開催し、四国遍路の歴史的な意義を明確にするとともに、全国に情報を発信する。	○全国の著名なご当地うどんを集めた、うどん発祥の地・さぬきならではの、見て・食べて楽しめるイベントを開催し、「年明けうどん」の全国へのさらなる普及を図る。	○瀬戸内ガール(一般公募、岡山3名・香川3名)が、女性の視点で、地元ならではの観光情報や瀬戸内の魅力をWebサイト等で情報を発信する(H25・26事業)。
	取組の目標期待される効果	○瀬戸内独自の資産を生かし、画一的ではなく、多様性のある瀬戸内ブランドの形成を目指し、その取組により、交流人口の拡大による地域経済の活性化を促進し、豊かな地域社会の実現を図る。 ※数値目標…瀬戸内の魅力の構築と発信により、H32までに、来訪意向率50%(北海道、沖縄なみ)を目指す。 ○瀬戸大橋の技術力や瀬戸内海の魅力の発信 ○瀬戸内海の環境保全意識の高揚・浸透 ○瀬戸内海を活用したにぎわいづくり	○香川発の食文化「年明けうどん」の全国へのさらなる普及 ○近県を中心とした県外からの観光客誘致	○Facebookなどによって、地元ならではの旬な情報が共有・拡散され、若い女性を中心になお一層の誘客につながる。
愛媛県	取組名	○「瀬戸内しまのわ2014」実施 ○国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」 ○しまなみ海道の自転車通行料金無料化 ○瀬戸内ブランド推進連合による広域モデル観光ルート設定	○愛媛マルゴト自転車道の展開・利用促進	○四国ツーリズム創造機構による観光情報発信 ○愛媛マルゴト自転車道サービスサイト開設 ○「愛顔のえひめ みかん人倶楽部」の開設
	取組概要	○広島・愛媛両県のしまなみ海道沿いの島しょ部及び臨海部(13市町)を舞台に開催中(H26. 3. 21～10. 26) ○8千人規模の国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」を10月26日に開始予定 ○瀬戸内しまなみ海道の自転車道について、広島県と協同して、「自転車道通行料金無料化」を7月19日から開始 ○瀬戸内海沿岸の7県が連携し、瀬戸内地域や首都圏での共同プロモーションや周遊観光ルートの開発など各種事業を推進	○県下全域にサイクリングコース(26コース)創設した「愛媛マルゴト自転車道」を展開。	○四国ツーリズム創造機構による四国4県の観光情報発信、広域観光モデルルート設定 ○愛媛マルゴト自転車道サービスサイト開設 ○スマートフォンを活用した登録観光施設の特典、ポイントラリーを実施する「愛顔のえひめ みかん人倶楽部」の開設
	取組の目標期待される効果	○交流人口の拡大を図るとともに、継続的な瀬戸内エリアの活性化		○四国や愛媛県の認知度向上や観光客の誘客促進のための情報発信
高知県	取組名	○「四国産業強化戦略」の推進	○高速道路延伸に合わせた広域観光の取組【実施予定】	
	取組概要	○四国産業強化戦略における、11項目から構成される「四国の未来を切り拓く「連携プロジェクト」」の推進 ・四国産品の大都市圏への売り込みプロジェクト。	○高知東部自動車道の延伸に併せて、高知県東部地域全体(芸西村～東洋町9市町村)で「高知家・まるごと東部博を実施。(H27.4～H27.10) ○東部博に先駆け、プレイベントとして、「高知東海岸グルメ祭り」「モネの庭ライトアップアート」を実施。	
	取組の目標期待される効果	○四国が連携した6次産業化の推進により、魅力ある四国の食の付加価値をさらに高め、販路拡大・食のブランド化につなげる。 ○大都市圏等において、四国が連携して、四国産品(農林水産物やその加工品、伝統工芸品等)の認知度をこれまで以上に向上させ、一層の販路開拓・販売拡大を図る。 ○これらの取組により、四国産品の販路の拡大や観光を含めた交流人口の増加が図られる。	○集客目標:各種イベント30%増・観光施設、体験プログラム20%増、道の駅・物産施設等 10%増、宿泊施設 約10%増 ○経済効果:約8億円	
四国運輸局	取組名	○国外(タイ、フランス)へ観光地「瀬戸内」の認知を図るためのメディア招請【実施予定】 ○インバウンド向けの広域観光ルートの開発【実施予定】 ○瀬戸内観光連携推進会議との取組連携【実施予定】		
	取組概要	○VJ地方連携事業の実施に向けて、今後、有望な新規周遊観光ルートについての意見交換を実施 ○映像を用いた国内外に向けた瀬戸内海の魅力発信及び外国人に対する誘客の促進等		
	取組の目標期待される効果	○瀬戸内海ひいては四国に訪れる訪日外国人旅行者の増加		
本四	取組名	○しまなみ海道の自転車通行料金無料化【実地中】 ○美術館ネットワークの活用【実施中、拡大予定】	○小さな名所づくり【実施予定】	○協議会のホームページの開設【実施予定】
	取組概要	○瀬戸内しまなみ海道の自転車道について、広島県と協同して、「自転車道通行料金無料化」を7月19日から開始 ○美術館ネットワークの活用	○OSA・PAを活用した小さな名所づくり	○環瀬戸内海地域交流促進協議会のホームページの開設
	取組の目標期待される効果	○本四道路の利用促進へ寄与	○本四道路の利用促進へ寄与	○環瀬戸内海協議会における取組や関連するイベント情報を積極的に発信することで、環瀬戸内海地域の交流促進に寄与

・瀬戸内しまなみ海道の自転車道について、広島県・愛媛県・本四高速と協同して、自転車通行料金の無料化を7月19日(土)の夏休み初日から開始。

例:しまなみ海道自転車通行料無料化
(広島県・愛媛県・本四高速)



しまなみ海道の自転車通行料金を無料としたもの。本州四国連絡高速道路が無料化による減収分の半分を、残りの半分を広島県、愛媛県、尾道市、今治市が負担する。



◆記者発表
(H26.7.3愛媛県)

瀬戸内しまなみ海道の自転車通行料金の無料化に関するお知らせ

瀬戸内しまなみ海道の自転車通行料金を無料化し、夏休み期間中は無料通行となります。

1. 対象：瀬戸内しまなみ海道（瀬戸内しまなみ海道）を利用する自転車

2. 無料化期間：平成26年7月19日（土）～20日（日）

3. 無料化の対象となる区間

【瀬戸内しまなみ海道（瀬戸内しまなみ海道）】

区間	料金
広島県・尾道市	20円
愛媛県・今治市	20円
愛媛県・大島町	20円
愛媛県・大島町	20円
愛媛県・大島町	20円

4. 備考：無料化期間中は、瀬戸内しまなみ海道を利用する自転車は、無料通行となります。ただし、有料通行区間は有料となります。

◆チラシ(本四高速)

しまなみサイクリングラリー

NEWS! しまなみ海道の自転車通行料金が期間限定で無料になります!

2014年 7/19(土)～2015年 3/31(日)

対象：自転車（一部例外あり）

しまなみ海道 自転車通行券

本四高速

各団体の独自の取組 道路整備利用促進基金の造成

- ・平成26年7月に徳島県道路整備利用促進基金を造成
- ・広域交通ネットワークである高速道路等の整備と道路の利用促進策の展開により、人流・物流の効率化や観光における利便性の向上を図る。

例：道路整備利用促進基金
(徳島県)

【新】道路整備利用促進基金 積立金

【平成26年度6月補正予算額 2,000,000千円】

「徳島発の政策提言」など機会ある毎に要望し、
本四高速の「全国共通料金」が実現！

新たなステージの
幕開け！

平成25年度で
本四高速への
出資終了！

本四高速への出資

◆債務償還に
10府県市が出資



■徳島県
昭和45年～平成25年
約546億円出資

(平成21年～平成25年)
約20億円/年

高速交通体系の飛躍
エポックメイクの年！

空港と高速道路が直結

本四と徳島道が直結

初年度 20億円(出資金相当額)を積み立て

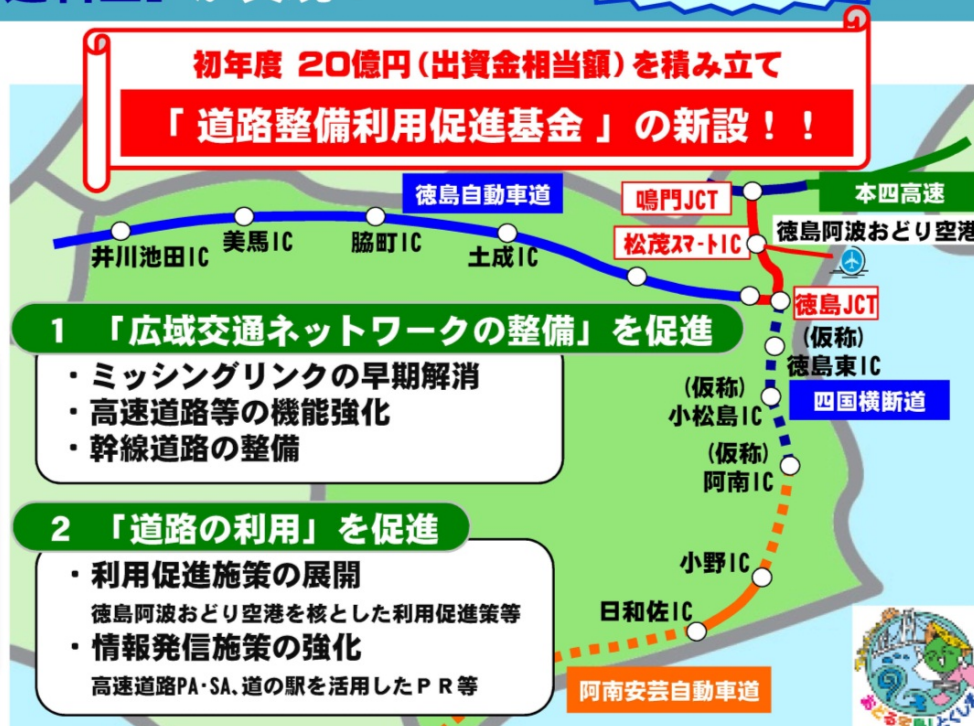
「道路整備利用促進基金」の新設！！

1 「広域交通ネットワークの整備」を促進

- ・ミッシングリンクの早期解消
- ・高速道路等の機能強化
- ・幹線道路の整備

2 「道路の利用」を促進

- ・利用促進施策の展開
徳島阿波おどり空港を核とした利用促進策等
- ・情報発信施策の強化
高速道路PA・SA、道の駅を活用したPR等



～ 県民一人ひとりが高速道路の恩恵を実感 ～
「にぎわい・感動とくしま」の実現！

広域的な情報発信

- ・四国総合ホームページ「ウェルカム四国」による四国の魅力を情報発信
- ・瀬戸内海国立公園指定80周年を控え、15年ぶりに改訂した「瀬戸内海歴史文化回廊」の頒布・PRを実施

例：四国総合HP(ウェルカム四国)や
「瀬戸内海歴史文化回廊」による情
報発信
(四経連・中経連)

瀬戸内海歴史文化回廊

瀬戸内海歴史文化回廊

兵庫県

香川県

徳島県

愛媛県

高知

四国総合HP(ウェルカム四国)

各団体の独自の取組 「淡路花博2015花みどりフェア」の開催

- ・平成27年3月～5月に淡路島において「淡路花博2015花みどりフェア」を開催予定
- ・淡路花博の開催理念を継承するとともに「あわじ環境未来島構想」の取組や淡路島を中心とした本県の多彩な「食」をアピールするために、淡路島を舞台に祭典を開催。

例：淡路花博2015花みどりフェア (兵庫県)

<概要>

- 実施主体：淡路花博15周年記念事業実行委員会
会 長：兵庫県知事
委 員 長：(一財)淡路島くにうみ協会 理事長
参加機関：国、県、本四、淡路3市、
淡路島くにうみ協会、淡路島観光協会等

○取組内容

【テーマ】

「人と自然の共生のステージ」

【会場】

淡路会場：淡路夢舞台及び国営明石海峡公園
洲本会場：洲本市中心市街地エリア
南あわじ会場：淡路ファームパーク・イングラントの丘エリア
サテライト会場：淡路地域で祭典に参加する島内観光施設等

【主な展示・行催事】

国営明石海峡公園 春のカーニバル
フラワーデザイン等の作品展示・イベント
アニメ・ゲーム等を使ったパビリオン
ひょうご五国のめぐみキッチンスタジアム
淡路まんぷく食堂

○目標及び期待される効果

来場者数目標値：約300万人
淡路の魅力の発信、地域活性化や地域振興の推進等

